



余暇活動支援事業

余暇活動支援事業は、主に鶴見区在住の障がいがある方々の余暇を充実してもらうための活動です。

大きく学齢の児童対象の活動と、成人の方を対象とした活動に分かれています。

子どもたち対象の活動では、さまざまな企画を用意した「まつぼっくり」、幹のパン工房でパン作りを体験する「ばんばかばくん」があります。「まつぼっくり」では、こどもの国やしながわ水族館へ行ってお弁当を食べたり、外食をしたり。パーティーでは自分たちで料理をして、ご馳走を食べました。普段できないような体験ができる機会を提供しています。

「ばんばかばくん」では、パン工房の中でスタッフが先生となり、子ども達がそれぞれ自分の好きな形のアンパンや、その時々のテーマのパンを自分で作ります。アンパンはいつもそれぞれとても個性的で、ポケモンや車の形など、楽しいパンを作ってくれ、いつも驚かされます。

成人の方の活動は「つるみくっす」という名前で行っています。こちらは子どもたちとの活動と違い、普段の生活とは少し違った大人の楽しみを企画しています。ナイターを観に行ったり、居酒屋にご飯を食べに行ったり、夜景を見ながら食事をして行ったり。大人ならではの余暇の時間を過ごしてもらえよう機会を提供しています。

それぞれの活動は、皆さんが普段経験する機会がありません。少しでもたくさん体験をして欲しいと思います。活動に参加されたことで、新しい経験を積み、より世界を広げてもらえたら、と思っています。

毎回楽しい企画を考えて、皆さんの応募をお待ちしています。





みかんいっぱい
探れました!



みかん狩りの後は、お昼ご飯

小田原城にて、
ハイ、チーズ!!



調理の余暇で「フルーツボンチ」



寒川神社で初詣



パン教室で、生地のはし

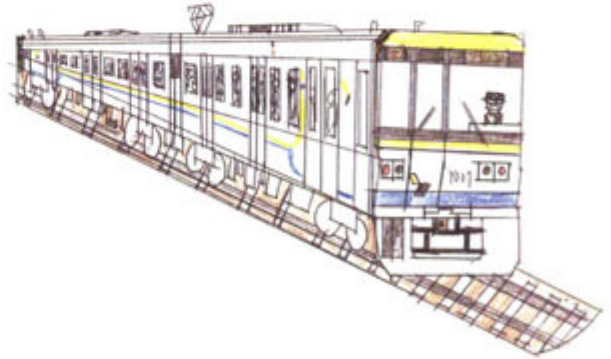
利用者さんの声



また
いきたい
ごご

ながつる こどもく
長津田～こどもの国

こどもの国線



バスケットのボールの形のまんぱん
を作りました。楽しかったです。

おしえていただき ありがとうございます
ました。



ウィンナーのまんぱん
を作りたいです。



ぼくは、高東、道多、あつ、かん、か、
な、い、か、ら、た、い、ま、

ご家族の声

● 今回の活動は、本人が具体的に色々話をしてくれて、聞いている私も楽しくなりました。

● 駅で迎えて会った時の第一声が「あー楽しかった」ですが、あまりこういう事を言わないので本当に楽しかったの一言だと思います。

● 今まで外出は必ず家族とでの参加だったので、子供だけ参加はじめてでした。最初は本人、とても緊張していましたが、帰ってきた時は、とてもリラックスしているようでした。今後もこのような機会があれば、参加させて、家族以外の人とのお出掛けに慣れてほしいです。どうもありがとうございました。

● 重度でことばもない子なので、活動に参加できるのか不安でした。実際に調理に参加はできなかった様ですが、初めての場所、初めての方々との出会いだけでも息子にとってよい体験となりました。また是非参加して下さい。と言っていただけな事がとても嬉しかったです。どうもありがとうございました。また参加させていただきたいです。

● 小さい時から、親以外の方と楽しい時間を過ごす経験をするというのはとても大切なことだと思います。

● このような機会をつくって下さり、本当に感謝しています。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

● 「思い出に残る余暇活動」そんな思いを持って子供は活動に参加し、思い出を積み重ねている様に思います。

● 幹の皆様と「飲みに行こうか」とか、「食べに行こうか」そんな気持で子供は常々出掛けていっている様子で、活動から帰るや否や、話中に夢中になったり外の楽しさが頭に残っているのか、楽しかった時間をボンヤリと思い出している時等々、仲間と過ごした時間の楽しさは、親と同じ場所へ行くのとは全く違う体験で、別世界へ行っている様に思います。仲間達との関わりはとても貴重な体験なんだと思います。これからも数多くの活動に参加し、貴重な体験を重ねてもらいたいです。これからもよろしくお願いします。感謝。

● 成人の部の余暇活動「つるみっくす」に参加し、普段の生活の中ではなかなか

味わえない余暇の楽しみを、体験させていただいています。

● 昨年は「ぶらぶら途中下車の旅」に参加し、京浜東北線―南武線―小田急・ロマンスカーに乗り継ぎ小田原城まで行き、帰りは東海道線―京浜東北線というコースで鶴見まで帰ってきました。電車大好きな息子にとってはこたえられない経験ができ、眼を輝かせロマンスカーに乗った事と一緒に帰った仲間の話を、夜が更けるまでしていました。親以外の仲間とこういう機会を持つ事はとても大事だと思います。スタッフの皆さんに心から感謝申し上げます。

● 親子とも年齢を重ね一緒に外出することが少なくなってきました。

● そのような日々の生活の中、余暇活動は、なかなか経験する事ができない場所に連れて行って下さり、付きそって下さる方と色々話をし、行動を共にし、楽しく過ごす貴重な一日です。帰ってくるとニコニコ顔で楽しかった様子が良く分かります。

● これからもできる限り参加させて頂きたいと思っておりますのでよろしく。